

## くらしナビ こころ Heart

kurashi@mainichi.co.jp

## 泥の中で咲う



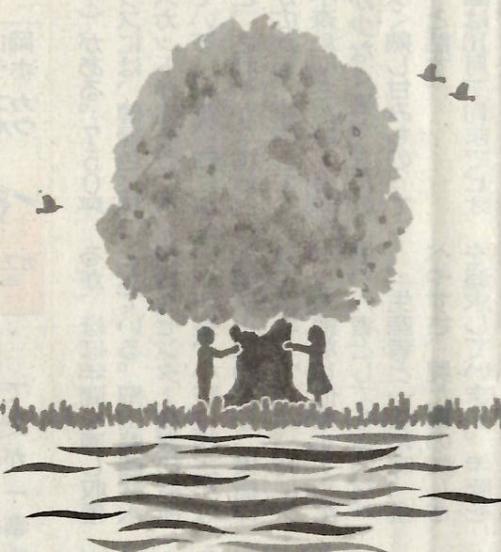
川村妙慶

7

学生時代、庭師のアルバイトをしていました。新規のお宅へ視察に行った時、こんなことがありました。

「きれいな庭ですね。手入梁に尋ねると、「川村さんなんか必要ですか」と棟梁は眼で聞くといふことができんのか」と言ふのです。眼で聞く? 眼で見るのなら納得ですが、聞くはどういうこと

## 眼で聞く



え・加藤早織

教えられました。先日、私のウェブサイトの「日替わり法話」を読んでくださっている女性から、「子どもがいつも私をキツイ眼でいるのです。いつからあんな子になつたのでしょうか」と質問されました。私は棟梁の言葉を思い出し、「子どもさんには

聞くと、どうとう子どもは、いじめにあつていると話してくれたそうです。軽くは口に出せなかつたけれど、自分を真剣に心配する母親もいいから聞いてみてあげてください」と伝えました。

ある日、下校してきた子どもとおやつを食べながら、「何かあったんか?」と聞いてみたそうです。すると、目の前にあつたスナック裏手を投げつけてきました。それでも抱きしめて、そので

すことになった場合、火葬して受け取る埋葬許可証が必要になるので、「紛失しないようしっかりと保管して」と同調は家の中に供養の空間ができたことで、母親とは会つたことがあります。小学生と中学生の子どもたちと当時の思い出話をする機会も後から遺骨を墓地に埋葬することになった場合、火葬して受け取る埋葬許可証が必要になるので、「紛失しないようしっかりと保管して」と同調は

かわむら・みょうけい 1964年生まれ。真宗大谷派僧侶、フリーアナウンサー。ウェブサイトは「川村妙慶のロココスタイル」(<http://myoukei.com>)。近著に「大丈夫、なんとかなるから」(KKベストセラーズ)。

■感想や相談をお寄せください 表題を「泥の中で咲う」とし、郵便は元100-8051(住所不要)毎日新聞くらしナビ。メールは上段のアドレスへ。ファックスは03・3212・5177。川村妙慶さんへの相談も歓迎します。

## 墓と一体自宅でお参り

核家族化や生活習慣の変化で、仏壇の位置付けが変わりつつある。新築の住宅やマンションは仏間を設けるケースが少なく、仏壇の簡素化・小型化が進む一方、墓の購入や維持が大変だという理由で仏壇を「家に置ける墓」と考える人も増えている。

【母野恒一、写真も】

## 仏壇

北海道えりも町の会社員、山内さん

内さん(54)は、「昨年暮れに病氣で亡くなった父親から、生前、雪かきや草むしりが大変だから墓はいらない。それより死んでも家でみんなを見守っていたい」と聞かされていた。本家ではないため、墓はまだなかった。

カタログを取り寄せて検討し、四十九日を前に購入したのは、墓碑・納骨棚と仏壇が一対になった家具だ。底にキャスターが付いており、二つを背中合わせにセットすれば、状況に応じ仮面と墓碑面のどちらで

に墓参りができるところなのに墓参りができないところの選択をしたと思っていました」と話す。 東京都内に住む主婦の松崎さんは、学生時代に母親を43歳で亡くした。危篤になる直前、

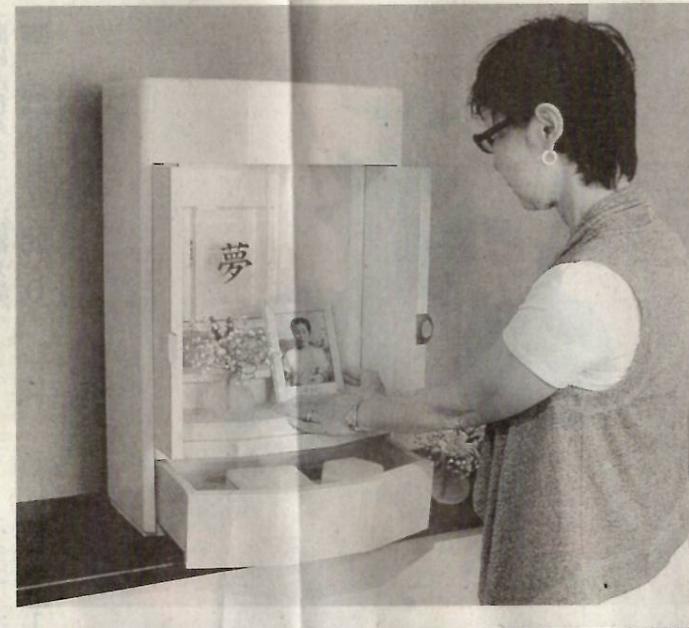
に墓参りができるところの選択をしたと思っていました」と話す。 東京都内に住む主婦の松崎さんは、学生時代に母親を43歳で亡くした。危篤になる直前、

も生まれたという松崎さん。「20年以上ずっと感じてきたものやもやした気分がやっと晴れた。救

ウキ」(横浜市都筑区、☎045・941・92255)による

ミングで「昨年から製造販売している「トータルリビング・ユ

ー」(横浜市都筑区、☎045・941・92255)による



## 産地など厳密に表示方法制定



「銘木のタガヤサン製と説明を受けて契約したのに、受領のときにになってタガヤサン調だと言い直された。解約したい」。

仏壇は産地や材質、加工法などをめぐってクレームの多い商品とされてきた。そこで業界は今年5月、仏壇公正取引協議会を設立し、厳密な表示法を定めた規約を作成して信用の回復を図っている。仏壇専門店だけでなく、ホームセンターや家具店、葬儀社、インターネットショップなどにも呼び掛け、現在、売り上げベースで過半数となる約470業者が加盟。店頭などに張る会員マーク=写真=の周知もPRしている。

がいない人、引っ越し可能性があつて墓地の購入をちゅうちょしている人などからの問い合わせが多いという。

上回る結果となったという。 全日本宗教用具協同組合の市東成区)は和風建築が減っていることから、伝統どらわれた仏壇は、精神的にも安らぎを与えてくれます。山内さんは「気候が厳しく気軽に当時の思い出話をする機会がある」と話す小堀理事長(京都市下京区)で

「お墓には入れないで」と頼まれた。仏教徒ではなかったため、仏壇も買わず、遺骨はずっと実家に保管されたままだった。

今年初め、知り合いの紹介で、遺骨を納められる仏壇風の家具を購入した。遺骨を分骨して納め、母親の写真を飾って、リビングに置いている。母親の好物のコーヒーを供えると「目の前は母がいるような感覚になり、自然に言葉が出てきて語りかけることもある」という。

家の中に供養の空間ができたことで、母親とは会つたことがない小学生と中学生の子どもたちと当時の思い出話をする機会

もし後から遺骨を墓地に埋葬することになった場合、火葬して受け取る埋葬許可証が必要になるので、「紛失しないようしっかりと保管して」と同調は

模倣の墓を作るには、個人宅でも埋葬法を所管する厚生労働省の生業衛生課によると、一定の規範の墓を作成するには、個人宅でも知事などの許可を得なくてはならない。しかし、墓に見立てた国内製造の宗教用具の出荷額は90年の1299億円をピークに07年には476億円まで落ちて

## 弔いかたち

仏壇製造販売の八木研(大阪市東成区)は和風建築が減っていることから、伝統どらわれた仏壇は、精神的にも安らぎを与えてくれます。山内さんは「気候が厳しく気軽に当時の思い出話をする機会がある」と話す小堀理事長(京都市下京区)で

仏壇製造販売の八木研(大阪市東成区)は和風建築が減っていることから、伝統どらわれた仏壇は、精神的にも安らぎを与えてくれます。山内さんは「気候が厳しく気軽に当時の思い出話をする機会がある」と話す小堀理事長(京都市下京区)で